

○新型コロナウイルスの罹患後症状とは

新型コロナウイルスに感染して、その治療や療養の終了後も、倦怠感や咳などが続いたり、一度体調や症状が良くなった後に、再び出てくる症状のことです。人によっては1年以上長期にわたって症状が続く場合があります。

○どんな症状があるの？

罹患後症状の代表的な症状は以下のものがあります。

疲労感・倦怠感、関節痛、咳、喀痰、息切れ、胸痛、脱毛、記憶障害、集中力低下、頭痛、抑うつ、嗅覚障害、味覚障害、動悸、下痢、腹痛、睡眠障害、筋力低下

○罹患後症状かな？と思ったら

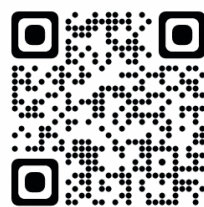
症状が持続したり、新しい症状が出てくる場合は、持病の悪化や他の疾患の発症が原因となっているケースもあります。

お一人で悩まず、まずは、新型コロナウイルス感染症の診断を受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

◆かかりつけ医がない場合は以下を参考に受診する医療機関をご検討ください。

主な症状	診療科
頭痛、発熱、倦怠感、動悸、胸痛など	内科
咳、呼吸困難、息切れ、胸痛など	呼吸器内科
嗅覚障害、味覚障害、めまいなど	耳鼻咽喉科
頭痛、倦怠感、集中力の低下など	神経内科
気力の低下、不安感など	精神科・心療内科
脱毛など	皮膚科
(小児の)倦怠感、息切れ、ふらつきなど	小児科

○お近くの医療機関がわからない場合は「**医療情報ネット(ナビイ)**」から検索できます。



キーワードに、「お住まいの市町名 スペース かかりたい診療科」と入力すると検索できます。

○ご家族や職場・学校の方へ

新型コロナウイルスに感染した6か月後、10%以上の人に何らかの症状がみられるなど罹患後症状は珍しいものではありません。ご家族や周囲の方も罹患後症状についてご理解いただき、症状に応じた配慮をお願いします。